

PROGRAM

8sat [1日目]



12:30～13:30 受付

13:30 開始 あいさつ:播磨靖夫(財団法人たんぼほの家理事長)オリエンテーション

13:50～14:50[60分] 講演1「アート役割とまなざしのデザイン」

「アートは問いを投げかけ気づきを促すもの、デザインは解を導きだすもの」との考えのもと、社会のさまざまな垣根を横断し、プロジェクトを行ってきたアーティストとしての実践から、今の社会におけるアートとデザインの役割を考えます。



花村 周寛(ランドスケープデザイナー/大阪)
アーティスト、役者、大阪府立大学21世紀科学研究機構准教授、大阪大学工学部建築学科非常勤講師。ランドスケープデザインや建築、コミュニケーションデザインを行う一方で、公共空間でインスタレーションなどのアート作品の制作も行う。

15:00～16:00[60分] 講演2「今、デザインにできること」

「日常を楽しもう!」をコンセプトにさまざまなモノや事をクリエイトするヒッコリースリートラベラーズ。人と人のつながりを大切に、地域を豊かにするデザインについて考えます。



迫 一成(ヒッコリースリートラベラーズ代表/新潟)
2001年クリエイト集団ヒッコリースリートラベラーズを結成。新潟市上古町の店舗でオリジナル衣類、雑貨等のデザイン・制作・販売を行うほか、新潟市美術館ミュージアムショップの運営も行う。

16:00～16:30[30分] ディスカッション
コーディネーター:播磨靖夫(財団法人たんぼほの家理事長)

16:45～17:45[60分] オプション

① アートセンター HANA 見学ツアー

たんぼほの家施設長とメンバーがアトリエやショップ&ギャラリーのほか、バックヤードである倉庫も含めてご案内します。

② ダンスワークショップ研究会「アリとコスモス」 映像+ディスカッション



2010年からたんぼほの家で開催しているダンスプログラム。重度の身体障害のある人、知的障害のある人、そしてスタッフなどさまざまな人が参加しています。ダンサーの佐久間新さんとともに映像をみながら、ダンスを通して人間の可能性を探ります。

進行:渡邊 弥生(たんぼほの家アートセンター HANA スタッフ)

18:00～20:00[120分] 交流会

全国から来る講師・参加者とおいしい料理を食べてたくさん話しましょう。名刺をご用意ください!

情報コーナー

会場に「情報交流コーナー」を設置します。全国から集まったみなさんとぜひ情報を交換しましょう。閲覧用のパンフレットや資料をお持ちください。 *掲示物は1団体A3サイズ以内でお願いします。

同時期開催

「アート化」セミナー まるごとコレクション

会期:2月1日(土)～2月22日(土) ※日・月・祝は休み。9日(日)は営業しています。

会場:たんぼほの家アートセンター HANA

HANA ギャラリー&ショップでは、セミナー講師の関連グッズを取り揃えた企画展を開催します。ポストカード、クッキー、手ぬぐい、マフラー、靴下、トレイなどなど、バラエティーに富んだ商品が集まります。セミナーとあわせて、お買い物もお楽しみください。

奈良県障害者芸術祭 [HAPPY SPOT NARA 2013-2014]

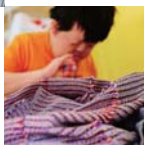
会期:2014年2月1日(土)～9日(日)

会場:奈良県文化会館展示室、東大寺、奈良まち界隈ほか

奈良のユニークなアーティストたちを紹介する芸術祭。関係性から生まれたアート、まちや生活の場にでかけていくアート、デザインによって「しごと」になるアート、今年も生活を豊かにするアートの可能性を紹介します。

PROGRAM

9sun [2日目]



選択プログラム

*リレー形式の連続講座です。



これから「アート化」に取り組む人のためのコース

10:10～11:10[60分]

「創造的なアートスペースをつくる～表現をいかす環境づくり」

地域と密着した就労の機会を提供するYELLOW。アートによってメンバーの個性をいかし社会につなげる支援と環境づくりについて考えます。

日垣 雄一(株式会社YELLOW代表取締役/大阪)

小野 沙耶花(株式会社YELLOW アトリエ・ゼネラルマネージャー/大阪)

11:10～12:10[60分]

「可能性を引き出す～障害のある人・スタッフの成長」

障害のある人の可能性を引き出し活躍の場をつくるには、メンバーの成長とともにスタッフの成長も欠かせません。アート活動を通じた障害のある人の成長とスタッフの役割と育成を考えます。

山下 完和(社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房施設長/滋賀)

12:10～13:30[80分] 休憩

13:30～14:30[60分]

「画材と表現」

画材によって表現は大きくかわります。障害のある人の特徴をいかし、その人にあった画材を選ぶために、画材の特性と使い方を学びます。

ターナー色彩株式会社

14:30～15:00[30分]

「作品の保存と管理」

アートを社会につなげる前に作品の保存や管理はかかせません。作品をまもる基本的な技術と考え方を伝えます。

吉永 朋希(たんぼほの家アートセンター HANA スタッフ/奈良)

15:00～15:30[30分]

「アートと著作権」

障害のある人のアートの著作権を守ることはその人の権利を守るうえで大切なことです。著作権とは何か、その活用とは? 基本的な考えを学びます。

柴崎 由美子(NPO法人エイブル・アート・ジャパン代表理事/東京)

選択プログラム

*選択プログラムBとCは並行して行いません。午前・午後それぞれどちらかを選択してください。



アートの社会化について考えるコース

10:10～12:10[120分]

B-1「生活とアートを近づけるアートプロジェクトとマネジメント」

コミュニティのなかで障害のある人の表現を伝え、多様な関係性を築いていくにはマネジメントの視点が必要です。地域や企業、行政との協働から生まれたアートプロジェクトを報告します。

岡部 太郎(財団法人たんぼほの家事務局長/奈良)

山口 未樹(認定NPO法人ボパイ理事長/愛知)

12:10～13:30[80分] 休憩

13:30～15:30[120分]

B-2「多様な表現をアウトプットする」

障害のある人の個性や表現は多様です。それをどのように編集して伝えていくか。表現とともにその人の存在そのものを伝え、周囲の人や社会の意識をかえる展覧会や舞台について考えます。

宮下 忠也(アートディレクター/大阪)

沼田 里衣(神戸大学大学院国際文化学研究科異文化研究交流センター協力研究員、音遊びの会代表/兵庫)

進行:中島 香織(たんぼほの家アートセンター HANA スタッフ)

選択プログラム

*選択プログラムBとCは並行して行いません。午前・午後それぞれどちらかを選択してください。



アート・デザインの力をいかし仕事をおこすコース

10:10～12:10[120分]

C-1「アート活動をどう仕事につなげるか」

福祉施設においても仕事を開発し、対価を生み出す事が求められています。どのように仕組みをつくり、社会の資源をどういかすか。試行錯誤から生まれた工賃アップの事例を共有します。

原田 啓之(社会福祉法人JOY 明日への息吹 JOY 倶楽部副施設長/福岡)

高野 賢二(NPO法人La Mano クラフト工房La Mano 施設長/東京)

12:10～13:30[80分] 休憩

13:30～15:30[120分]

C-2「アート×デザインによるソーシャルビジネス」

今、アート・デザイン・ビジネスの分野をこえた協働が求められています。障害のある人のアートの独創性と企業の技術力をデザインでつなぐことで生まれる新しい商品の可能性を考えます。

城島 薫(NPO法人Tsunagu family代表理事/長崎)+樋口 龍二(NPO法人まる代表理事/福岡)

藤井 克英、中谷 由美子(たんぼほの家アートセンター HANA スタッフ)

進行:森下 静香(財団法人たんぼほの家事務理事)